

綺麗でどうしていけないの???

7. 21

ここ心齋橋では毎年7月に《心齋橋ゆかたモードコンテスト》っというものが開催されます。今年で3回目なのですが、心齋橋の住民としてはこの時期の楽しみが増えたというものです。チャンピオンには海外旅行が当たり、心齋橋の販促のために少々のお仕事をしてもらおうということです。しかし、何でストレートに《美人コンテスト》と叫ぶのでしょうか？ 何でこの程度の賞品しかももらえないのでしょうか？ 開催者が色々と各方面に気を使っているということが痛いほどわかります。ミスユニバースについても批判があり、昔ほどには盛り上がらない今日この頃の日本です……。

(楊 小姐 24才 177cm)



中国の大連市は美人が多いことで有名ですが、ここには大学のモデル学科の卒業生だけで組織された警察官部隊があります。12億の民の中から選ばれ、しかもモデルとしてプロの手がはいった人たちですからして、そりゃもう大変です。その部隊が芝生を引きつめた大きなロータリーの一角で、台の上に乗かって交通整理をしている様はイケテルとはおもいませんか？ 何周でも走ってロータリーから出てゆかない車があるのは当然のことです。(わき見で事故らないかなあ???)

『何で綺麗なことを武器にしちゃいけないの???'』と共産国中国で考えさせられました。我々が当たり前のようにして思わされてしまっていることへの根本的な疑問が生じます。中国は12億の民の中での強烈な競争社会です。日本が社会主義国家だといわれる所以を、この《ゆかたコンテスト》に見た思いでした。

松村 記

マァラ ハマリ系昆布・・・麻辣ちりめん昆布の巻

ここ数年中国によく出張して、ハマッてしまっています。色々な食材を見て味わって歩いていますが、中でも四川省成都で出会った中国山椒<四川花椒>の辛さにはびっくり!!! マーボー豆腐発祥の地ですので、舌がしびれる感覚のこの風合いは唐辛子とはまた違った辛さです。我々日本人が経験している<和山椒>のピリリ感とも違ってきます。山椒の実を若いうちに採ってしまわないで、そのまま成長させ弾けさせて採取します。なんとも黒いような赤いような……。見るからに怪しい感じの実ですが、味もまた然り!

4月ごろにちりめん昆布の新作をやっているときに、ちりめんが大き過ぎて魚くさくて今ひとつでした。そこに成都から持ち帰った四川花椒を臭み隠しに入れて炊いてみたのですが、これがイケル味! 唐辛子系の辛さも必要となり、味の深さを出すために甘味も……。つとなり完成!!! まずは甘味、次に唐辛子系の辛味、最後に四川花椒の辛味。酒飲みにも圧倒的支持をうける不思議系昆布の出来上がり。

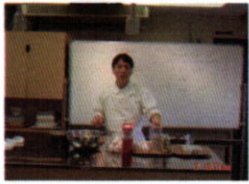
まもなく新登場いたしますので、乞うご期待!! (8月末新発売予定)

松村 記

塩昆布工場にアイスクリーム製造機がやってきた。

暑くて、アイスクリームが食べたかったのか？それともアイスクリームが大好きなのか・・・？

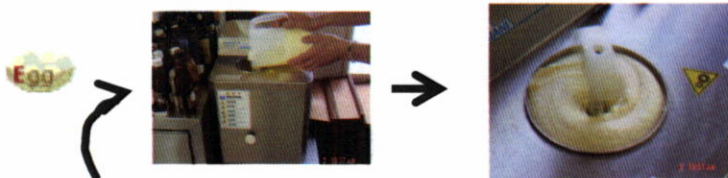
というわけで、誰かさん(誰でしょう?)のわがママでアイスクリームのお勉強が始まる。



↑こらら、中村シェフ。

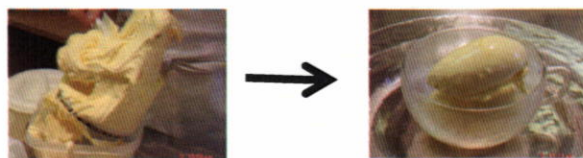
我らが中村シェフ（松前屋お助け人）より作り方を伝授されました。師匠曰く

「アイスクリームマシーンがあれば簡単にできる」らしいのだが・・・。



これがアイスクリームマシーン。

こんな感じでアイスクリームが出来上がるの。
盛り上がってきたらもうスグだ～。



マシーンから取り出します。

おいしそうでしょ。

こんな感じに出来上がります。
やっぱり出来上がりが1番。

私は、おいしいと思います。



こちらは、なんと 🍺 黒ビールとバニラのアイスクリームです。
一緒に食べてもおいしいです。また、お酒をかけてもめっちゃめっちゃ
いけました。

というわけで、アイスクリーム作り はじまるの巻 続く。

※このアイスは一夜一夜肥後橋店でお楽しみいただけます。 谷口 記

～編集後記～

というわけで、創刊第一号も無事(?)作成、お届けできることになりました。松前屋ファンの皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ほんまにおおきに！『老舗』といわれる一方で、実は内部はこんなに変な社員ばかりで「おいおい大丈夫か？」と思われる向きもあろうかと思えます。しかしながら、このようにいろんな人達がいるからこそ 90 余年続いてこれたと思えますし、何よりもまずは皆様のあたたかいご支援あつてのことと思えます。改めて御礼申し上げますとともに、これからも末永くお付き合いいただけますようお願い申し上げます。ハッキリ言って疑問や質問がいっぱい出てきそうな謎の記事もありますし、遠慮なくお問い合わせ下さい。今回は、記念すべき創刊号ということで、みんな力を入れ過ぎてしまい、これだけの量になってしまいました。次回よりおそらく 2 枚ぐらいになると思えます(ネタ切れのおそれ有り)。が、必ず年 4 回は発行いたしますので、よろしく願いいたします。

～佐古～